

広がる認知症サポーター 認知症の人と家族をまちの力で支えよう

認知症キャラバン事業

認知症は、65才以上の約15%、85才以上では約25%に出現するといわれ、全国で400万人以上と推計されています。誰もがなる可能性のある病気の1つです。

認知症になると、物忘れ、時間や場所がわからなくなる、理解・判断力が低下する…などの症状が出てきます。そんな認知症の方と家族の生活を地域で支援し、認知症になってもいきいきと安心して暮らせるまちをめざして、「認知症サポーター」を養成する取組みを行っています。養成講座の講師は「認知症キャラバン・メイト」である市民の方、市内事業所や市の職員などがつとめます。

平成18年の取組み開始から 高浜市には約4,200人のサポーターが 誕生しています！



▲翼小学校 出前授業
先生も劇に参加しました。



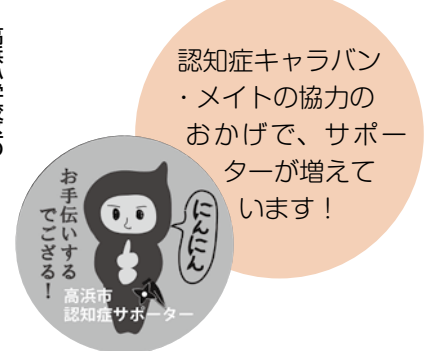
▲吉浜公民館祭で恒例となった認知症劇



▲高取小学校 出前授業
シナリオもメイトさんが作りました。



▲高浜小学校区の
キャラバン・メイトの皆さん



▲認知症のお客様の接し方を学ぶ
美容組合の皆さん



▲認知症の人の買い物を支えるため、
スーパーも協力してくれています。



▲南部まち協 出前講座



▲市職員もサポーターです。